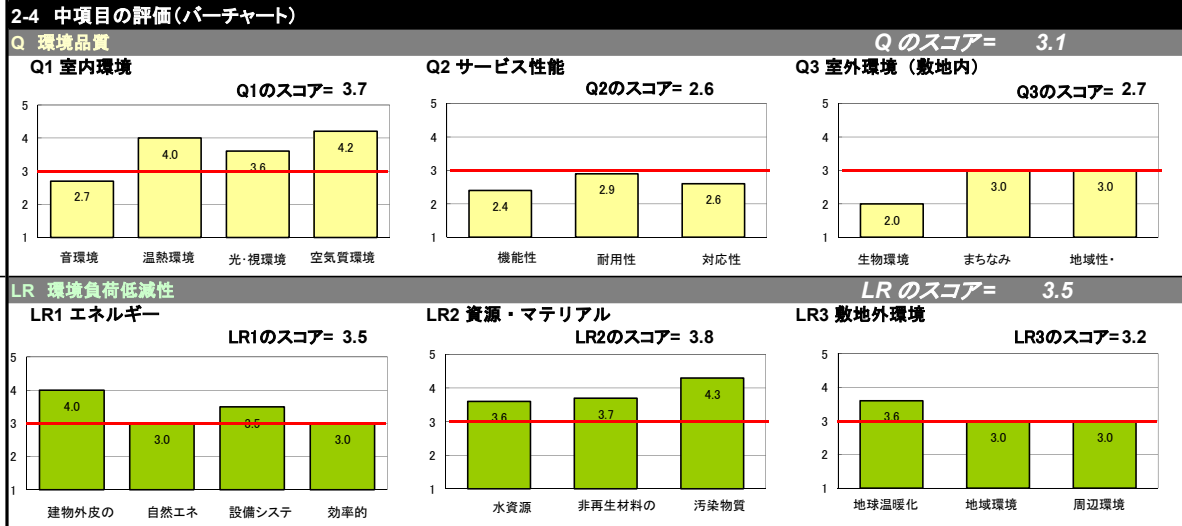
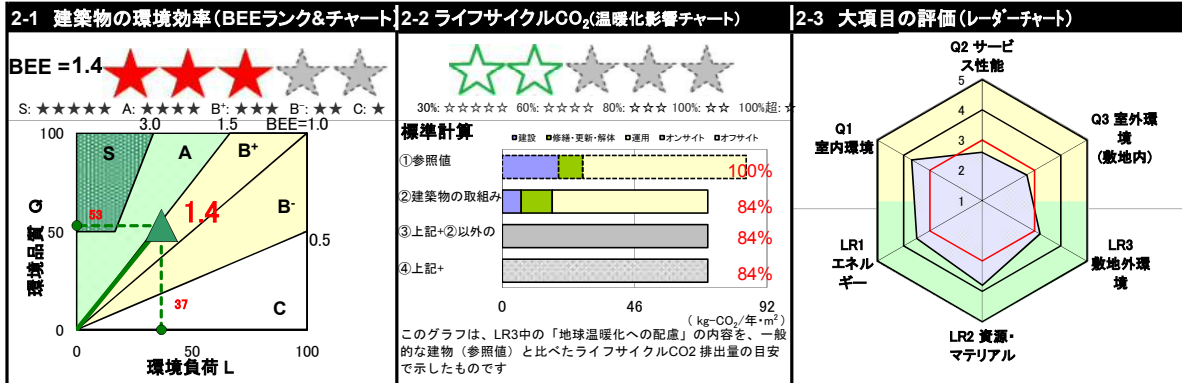


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	初吹住宅(第3工区)	階数	地下0階地上7F
建設地	愛知県豊田市京ヶ峰1丁目1-1の一	構造	RC造
用途地域	第一種中高層住居専用地域	平均居住人員	294 人
気候区分	5地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年12月 予定	評価の実施日	2017年8月1日
敷地面積	11,293 m ²	作成者	河合美奈子
建築面積	1,092 m ²	確認日	2017年8月31日
延床面積	5,335 m ²	確認者	河合達雄



3 重点項目

<h4>①地球温暖化への配慮</h4> <p style="font-size: 2em; color: green;">3.6</p>	<h4>③敷地内の緑化</h4> <p style="font-size: 2em; color: green;">2.0</p> <p>外構緑化指数(外構緑化面積/外構面積)</p> <p style="text-align: center;">13.9 %</p> <p>建物緑化指数(建物緑化面積/建築面積)</p> <p style="text-align: center;">0.0 %</p>
<h4>②資源の有効活用</h4> <p style="font-size: 2em; color: green;">3.3</p>	<h4>④地域材の活用</h4> <p style="font-size: 2em; color: green;">2.0</p> <p><外装材に使用した地域性のある材料></p> <p>なし</p> <p><建物の構造材・内装材、外構に使用した地域性のある素材></p> <p>植栽にハナノキを採用</p>

各重点項目は、以下の評価項目の得点により算出されています。

①地球温暖化への配慮

LR-3 1 地球温暖化への配慮

②資源の有効活用

Q-2 2 耐用性・信頼性、Q-2 3 対応性・更新性

LR-2 2 非再生性資源の使用量削減

③敷地内の緑化

Q-3 1 生物環境の保全と創出

外構緑化指数 = $\frac{\text{中高木の樹冠の水平投影面積} + \text{低木・地被等の植栽面積}}{\text{敷地面積から建物面積(建築面積及び附属物面積)を除いた}} \times 100$

建物緑化指数 = $\frac{\text{屋上緑化面積} + \text{壁面緑化面積}}{\text{建築によって占有された部分の水平投影面積(法定面積)}} \times 100$



3 対応性・更新性					3.0	0.29	2.6	2.6	1.00	2.6
3.1 空間のゆとり					-	-	2.2	2.2	-	0.50
1 階高のゆとり					-	-		3.0	-	0.60
2 空間の形状・自由さ					-	-		1.0	-	0.40
3.2 荷重のゆとり					-	-		3.0	-	0.50
3.3 設備の更新性					3.0	1.00				-
1 空調配管の更新性		②			3.0	0.17				-
2 給排水管の更新性					3.0	0.17				-
3 電気配線の更新性					3.0	0.11				-
4 通信配線の更新性					3.0	0.11				-
5 設備機器の更新性					3.0	0.22				-
6 バックアップスペースの確保					3.0	0.22				-
Q3 室外環境(敷地内)					-	0.30				2.7
1 生物環境の保全と創出		独自③			2.0	0.30				2.0
2 まちなみ・景観への配慮		独自④			3.0	0.40				3.0
3 地域性・アメニティへの配慮					3.0	0.30				3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		独自④			3.0	0.50				-
3.2 敷地内温熱環境の向上					3.0	0.50				-
LR 建築物の環境負荷低減性										3.5
LR1 エネルギー					-	0.40				3.5
1 建物外皮の熱負荷抑制				日本住宅性能表示基準「5-1断熱等性能等級」における等級4	4.0	0.33				4.0
2 自然エネルギー利用					3.0	0.17				3.0
3 設備システムの高効率化				BEI=0.95	3.5	0.33				3.5
4 効率的運用					3.0	0.17				3.0
集合住宅以外の評価					-	-				-
4.1 モニタリング					-	-				-
4.2 運用管理体制					-	-				-
集合住宅の評価					3.0	1.00				-
4.1 モニタリング					3.0	0.50				-
4.2 運用管理体制					3.0	0.50				-
LR2 資源・マテリアル					-	0.30				3.8
1 水資源保護					3.6	0.15				3.6
1.1 節水					3.0	0.40				-
1.2 雨水利用・雑排水等の利用					4.0	0.60				-
1 雨水利用システム導入の有無				大屋根雨水をタンクに貯蔵し、植栽への散水に使用	4.0	1.00				-
2 雑排水等利用システム導入の有無					-	-				-
2 非再生性資源の使用量削減					3.7	0.63				3.7
2.1 材料使用量の削減					2.0	0.07				-
2.2 既存建築躯体等の継続使用					3.0	0.24				-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		②		-	3.0	0.20				-
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		独自		再生加熱アスファルト混合物、再生路盤材、再生硬質塩化ビニル管	5.0	0.20				-
2.5 持続可能な森林から産出された木材					2.0	0.05				-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		独自		天井材に珪藻土仕上塗材を使用	5.0	0.24				-
3 汚染物質含有材料の使用回避					4.3	0.22				4.3
3.1 有害物質を含まない材料の使用				使用材はすべてF☆☆☆☆材を使用	3.0	0.32				-
3.2 フロン・ハロンの回避					5.0	0.68				-
1 消火剤					-	-				-
2 発泡剤(断熱材等)				発泡剤にフロン・代替フロンガスを使用していない	5.0	1.00				-
3 冷媒					-	-				-
LR3 敷地外環境					-	0.30				3.2
1 地球温暖化への配慮		①		ライフサイクルCO2概算値:84%	3.6	0.33				3.6
2 地域環境への配慮					3.0	0.33				3.0
2.1 大気汚染防止					3.0	0.25				-
2.2 温熱環境悪化の改善					3.0	0.50				-
2.3 地域インフラへの負荷抑制					3.2	0.25				-
1 雨水排水負荷低減		独自			3.0	0.25				-
2 汚水処理負荷抑制					3.0	0.25				-
3 交通負荷抑制		独自		戸数分の駐輪場や駐車場の確保及び介護用駐車場の設置	5.0	0.25				-
4 廃棄物処理負荷抑制					2.0	0.25				-
3 周辺環境への配慮					3.0	0.33				3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止					3.0	0.40				-
1 騒音		独自			3.0	1.00				-
2 振動		独自			-	-				-
3 悪臭					-	-				-
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制					3.0	0.40				-
1 風害の抑制					3.0	0.70				-
2 砂塵の抑制					-	-				-
3 日照障害の抑制					3.0	0.30				-
3.3 光害の抑制					3.0	0.20				-
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策					3.0	0.70				-
2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策					3.0	0.30				-

重点項目スコアシート
初吹住宅(第3工区)

実施設計段階

■使用評価マニュアル

CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き

■評価ソフト:

CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)_AICHI

重点項目(配慮項目)		評価点	全体に対する 重み係数	重点項目スコア
① 地球温暖化対策				3.6
LR3-1	地球温暖化への配慮	3.6	0.10	
② 資源の有効活用				3.3
Q2-2	耐震性・信頼性	2.9	0.09	
Q2-3	対応性・更新性	3.0	0.09	
LR2-2	非再生性資源の使用量削減	3.7	0.19	
③ 敷地内の緑化				2.0
Q3-1	生物環境の保全と創出	2.0	0.09	外構緑化:13.9%/建物緑化:0%
④ 地域材の活用			(評価ポイント)	2.0
Q3-2 4)	地域性のある素材による良好な景観形成	0.0	-	なし
Q3-3.1 I 2)	地域性のある材料の使用	1.0	-	植栽にハナノキを採用

■重点項目スコア算出式

各重点項目スコアは、以下の方法により算出されています。

①地球温暖化への配慮、③敷地内緑化

重点項目スコア=各配慮項目の評価点

②資源の有効活用 (評価点×全体に対する重み)の総和

重点項目スコア= 重みの総和

④地域材の活用

重点項目スコア=評価ポイントの合計+1

計画上の配慮事項	
総合	注) 設計における総合的なコンセプトを簡潔に記載してください。 既存の5階建て共同住宅から7階建て中高層共同住宅へと住環境を整えつつ、敷地周辺への日照、日影配慮を行い、緑化に努め調和を図った。また、劣化対策、省エネルギー対策もを行い耐用年数の高い建築として環境配慮を行った。
Q1 室内環境	注) 「Q1 室内環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 内装は全面的にF☆☆☆☆、特記仕様書によりホルムアルデヒド以外のVOCの使用制限を規定している。適切な換気計画や断熱、遮音性能を有し、住環境と健康に配慮している。
Q2 サービス性能	注) 「Q2 サービス性能」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 公営住宅として、3世代(75~90年)を想定して劣化対策等級3(構造躯体等)の品質を確保している。共用部のバリアフリー化、シルバー住戸を設置するなど高齢者等に配慮した。また各住戸は、TEL、TVを設置している。
Q3 室外環境(敷地内)	注) 「Q3 室外環境(敷地内)」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 駐車場車止め先を芝張にするなど緑化に努め、児童公園は子供の足元に配慮し芝張とした。歩道・駐車場は透水性舗装とし、雨水排水の配慮を行った。
LR1 エネルギー	注) 「LR1 エネルギー」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 住戸の南北2面が、外気に面しており、採光、通風を考慮した。共用部照明器具のLEDタイプ採用など環境対策を行っている。
LR2 資源・マテリアル	注) 「LR2 資源・マテリアル」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 躯体と仕上材が容易に分別可能となっている。土間下、基礎下には、RC40材を使用した。雨水の散水利用のためのタンクを設置している。
LR3 敷地外環境	注) 「LR3 敷地外環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 介護車専用駐車スペースを設けている。分別集積可能なスペースのあるゴミ置き場を設置している。
その他	注) 上記の6つのカテゴリー以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取り組みがあれば、ここに記載してください。 特になし。